

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

船橋市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 二宮小学校)

「思考の共有につながる電子黒板の活用」

メリット

- ・ 思考の共有、検討ができる。
⇒児童が思考途中の考えを表示させ、比較検討の場面で共有することで、お互いの考えの違いに気づき、理解が深まる。
- ・ 大きく映し出すことができる。
⇒資料の拡大、縮小が容易にできるため、伝えたい部分を明確に表示させることができる。
- ・ 簡単に書き直すことができる。
⇒児童の反応に合わせて説明を重ねて書いたり、消したりすることができる。
- ・ 資料を保存し、いつでも取り出すことができる。
⇒前時の書き込みをすぐに表示して、話し合いに活用できる。



2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 古和釜中学校)

「校外学習の振り返りを共同編集機能で効率・活性化」

○共同学習ソフトのシンキングツールで共同編集する。

メリット

- ・ 友達の意見や考えをリアルタイムで見合うことができる。
⇒発言が苦手な生徒も含め全員の意見や考えを簡単に共有することができる。
⇒考えを作成するための参考にしたり、他の人の意見を参考に自分の考えを広げたりできる。
- ・ シンキングツールと付箋機能を使って自分の考えを移動したりまとめたりできる。
⇒一人一人が考えながら動かすことで思考が整理・分析しやすくなる。



○振り返りで、アンケート機能を使って結果を表示できる。

メリット

- ・ 学級の意見を瞬時に集約し、映し出すことができる。
⇒クラス全体で考えを共有するだけでなく、個別にフィードバックすることで、これからの活動意欲につなげることができる。

